

● 令和6年度男女共同参画に関する市民意識調査について

【調査の目的】

男女共同参画の社会づくりに関する市民の意識と実態を把握するため5年に一度実施している。調査結果から今後取り組むべき新たな課題を見出し、男女共同参画行政施策の基礎資料として活用するとともに、第5次男女共同参画計画の策定資料とする。

【調査の概要】

- | | | |
|---|------|--|
| 1 | 母集団 | 佐賀市内に居住する16歳から74歳までの男女 |
| 2 | 標本数 | 2,300人(予定) |
| 3 | 抽出方法 | 等間隔無作為抽出法 |
| 4 | 調査時期 | 令和6年11月 |
| 5 | 調査方法 | 郵送による配布、郵送及びインターネットによる回収(委託により実施) |
| 6 | 設問数 | 4項目40問(令和元年度調査 42問) |
| 7 | 調査設計 | 性別役割分担を前提とした職場、家庭、地域の慣習が根強く残り、女性の社会進出や男性の家事参画に影響を及ぼしているという市民意識を明らかにする。
① 男女共同参画について
② 就業について
③ ワークライフバランスや子育て、パートナーシップについて
④ 人権や性的マイノリティについて |

● 令和6年度男女共同参画社会に関する中学2年生意識調査について

【調査の概要】

- | | | |
|---|------|--|
| 1 | 対象 | 市立中学校2学年 全生徒 約1,700人 |
| 2 | 調査時期 | 令和6年11月 |
| 3 | 調査方法 | WEBアンケート |
| 4 | 設問数 | 6項目26問(令和元年度調査 4項目21問) |
| 5 | 調査設計 | 家庭や学校内の慣習的な役割分担が次世代のジェンダー観に影響を与えるかを明らかにする。
① あなたのことについて
② 家庭のことについて
③ 学校生活のことについて
④ 将来について
⑤ DVについて
⑥ 困ったときの相談について |